



遙か昔
漆黒の狼と

白い牝鹿が
番になりました



永い永い時を経て
彼らの子孫は
人となり

狼を操り
狼と共に生きる
民となりました



彼らは黒い髪を
持つ子供を「狼」

稀に生まれくる
白い髪を持つ子供を
「白鹿^{しろじか}」と呼びました



身体はやせ細り
言葉も喋れない
ようです

村人たちは白鹿誕生を
報告しなかった
理由について頑なに
口を閉ざしております



白鹿が生まれた
ことを隠匿
しようとは



大丈夫か？

保護してから
ずっとこの調子で
近づけやしない…





——まるであの頃の俺のようだ







